

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
国語	現代の国語	2	2年 情報ビジネス科 システム工学科	必修	新編 現代の国語 東京書籍	新常用漢字必携パーフェクトクリ ア改訂版 尚文出版

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を向上させる。 言葉による表現の対象を自己、他者、社会、世界、未来へと視野を広げる。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「思考・判断・表現」 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 「主体的に学習に取り組む態度」 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を持っている。
評価の方法	「知識・技能」 定期考査における基本問題や小テストで評価する。 「思考・判断・表現」 定期考査における発展的な問題や記述問題、授業内での発表や小論文などの内容や成果物で評価する。 「主体的に学習に取り組む態度」 提出物の内容や授業への取り組み状況において評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	「こそめスープ」 ・筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。 ・自身の経験を踏まえ、自らの志向に目を向けて、相手に伝わるように表現する。 「ルリボシカミキリの青」 ・体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考える。 「気になるニュースについて話そう」 ・情報を整理し、内容や構成に注意して言語化し、他者に伝える。 「未来をつくる想像力」 ・情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。 ・さまざまなメディアの特長を知り、受信者としても送信者としても適切な判断のもと、使い分ける。 「水の東西」 ・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深め、二項対立について理解する。
2 学期	「鍋洗いの日々」 ・自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。 「真夏のひしこ漁」 ・読書を通じて将来の職業や働き方を考える。 「憧れの職業について調べ、整理してまとめよう」 ・調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくまとめる。 「発想を広げる方法を使って話し合おう」 ・発想を広げてアイデアを整理し、まとめる。 ・相手意識を持って言葉を選ぶ。 「美しさの発見」 ・「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。
3 学期	「不思議な拍手」 ・人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深める。 ・推論の仕方を理解し、日常で使えるようになる。 「真の自立とは」 ・「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--